

【案】

第2次

松江市農山漁村地域活性化基本計画
(令和6年度～令和11年度)

令和6年(2024年)●月

松江市

はじめに

目次

第1章 農山漁村地域活性化基本計画について

- 1 計画策定の趣旨と経過P1
- 2 計画の位置づけと役割P2
- 3 計画の期間P2
- 4 SDGs(持続可能な開発目標)への対応P2

第2章 本市農林水産業の現状と課題

- 1 農業P3～4
- 2 林業P5
- 3 漁業P6

第3章 本市が目指す農林水産業の展開

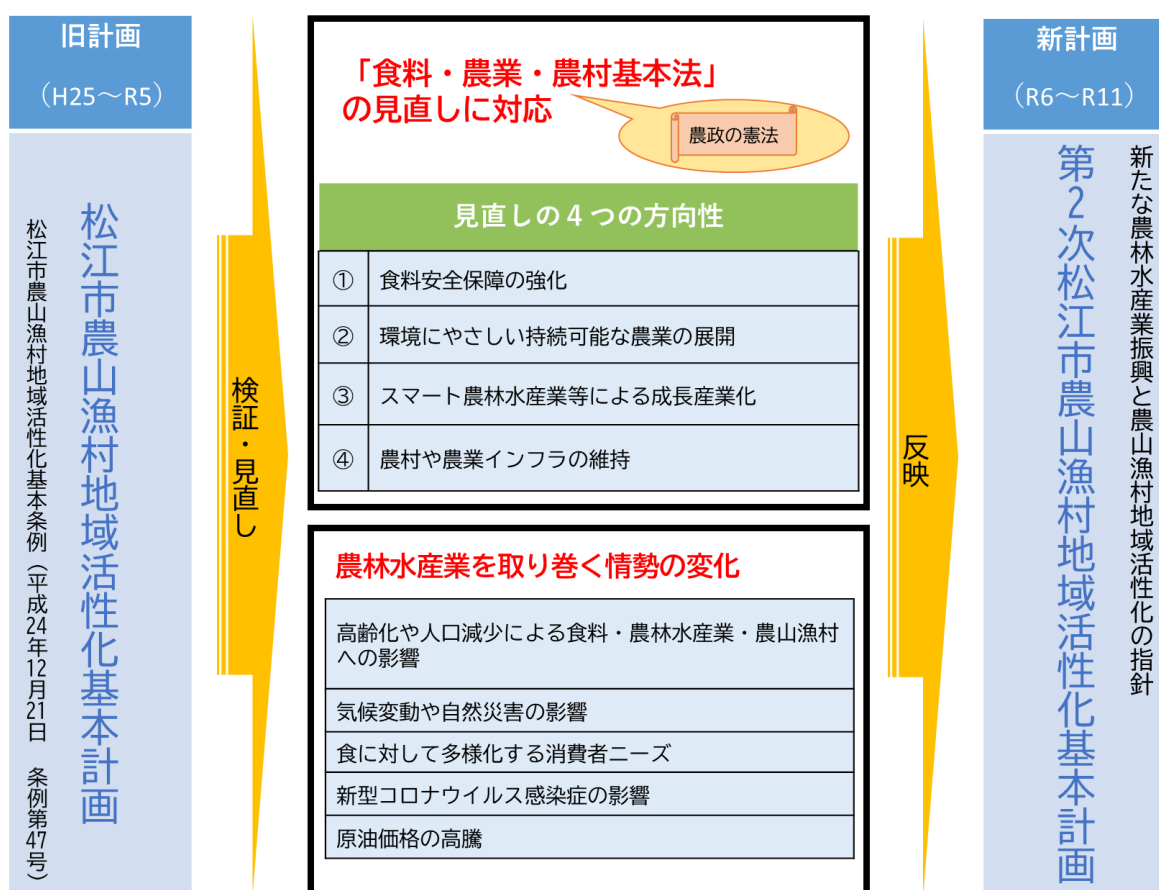
- 1 基本理念と基本方針P7～8
- 2 主要施策P9～28

第4章 計画の推進P29

第1章 農山漁村地域活性化基本計画について

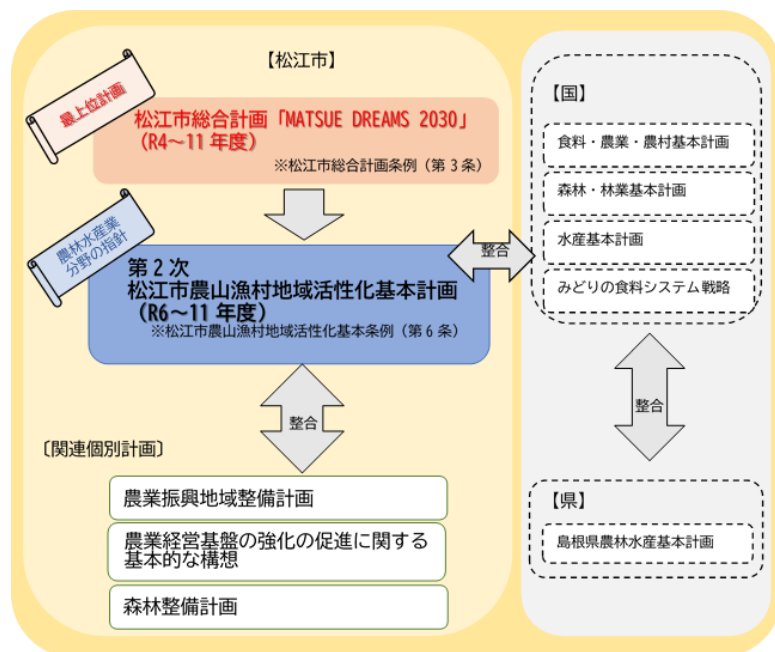
1 計画策定の趣旨と経過

- 「松江市農山漁村地域活性化基本条例（平成24年12月21日 条例第47号）」
第6条の規定に基づき策定
- “農政の憲法”と言われる
「食料・農業・農村基本法（平成11年 法律第106号）」の見直し対応
- 農林水産業を取り巻く情勢の変化に対応



2 計画の位置づけと役割

- 「松江市総合計画（MATSUE DREAMS 2030）」
“松江産の食材がスーパーに増えた”の実現“
➡ 農林水産分野の指針となる基本計画
- 国・県の計画や関連個別計画との整合性を図る

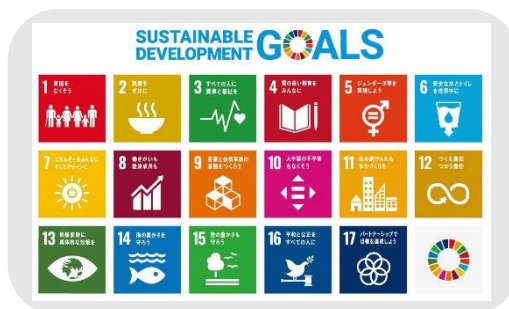


3 計画の期間

- 令和6年度(2024年度)から令和11年度(2029年度)までの6年間

4 SDGs(持続可能な開発目標)への対応

- SDGsとは
持続可能で多様性と包括性のある社会の実現のため、2030年を期限とする17の国際目標
- 農林水産業の発展
➡ 持続可能な社会の実現の一翼を担う必要



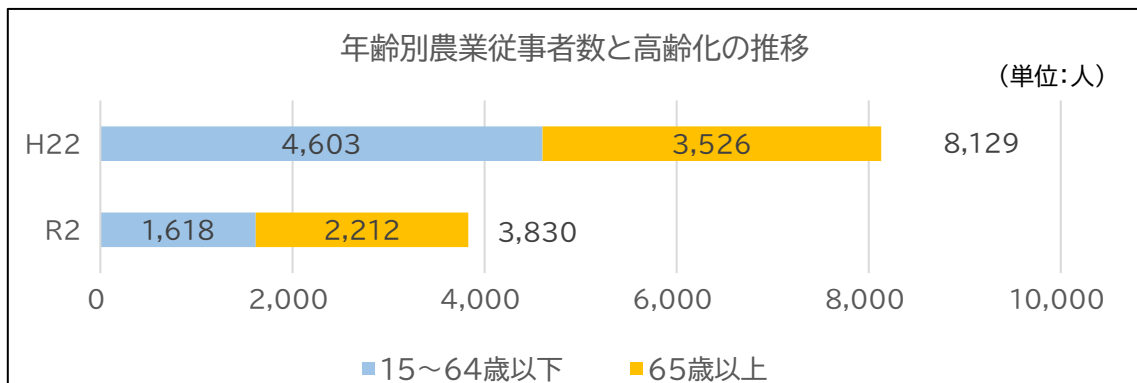
第2章 本市農林水産業の現状と課題

1 農業

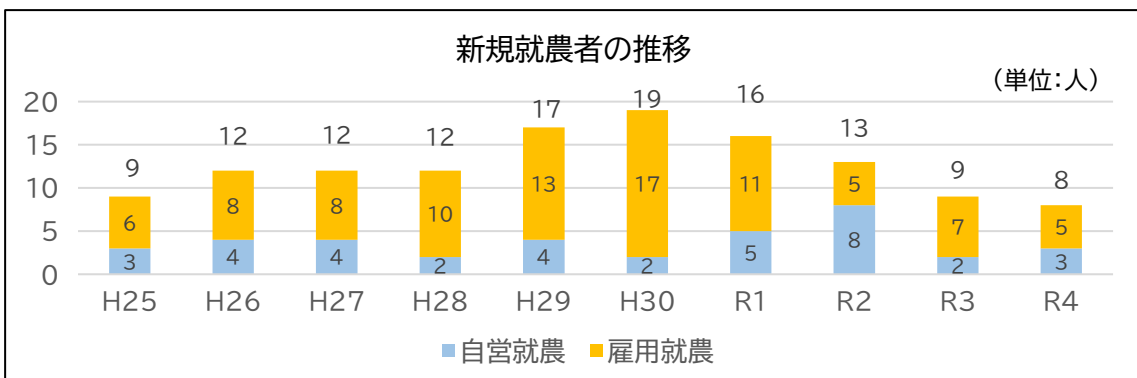
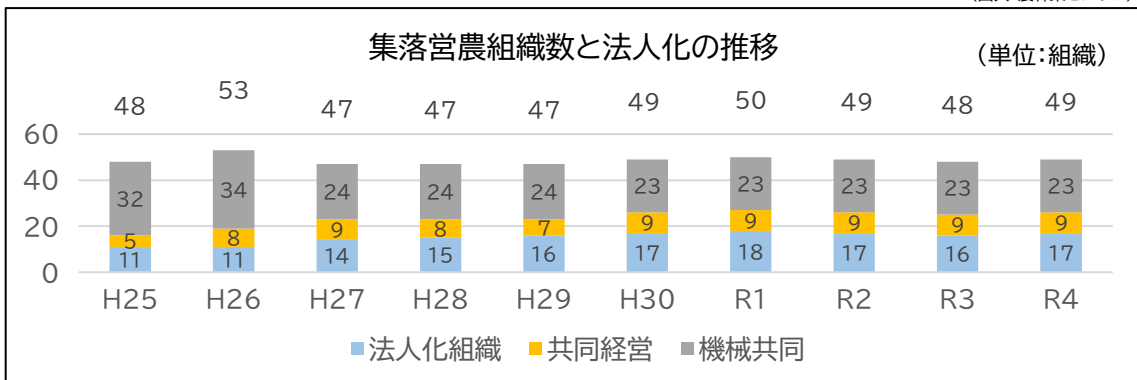


担い手不足と高齢化

- 農業従事者の減少と高齢化が進行しています。
- 集落営農組織の法人化が進んでいますが、半数が機械共同組織に留まっています。



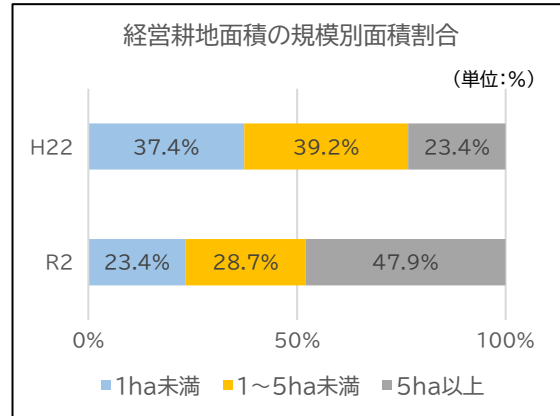
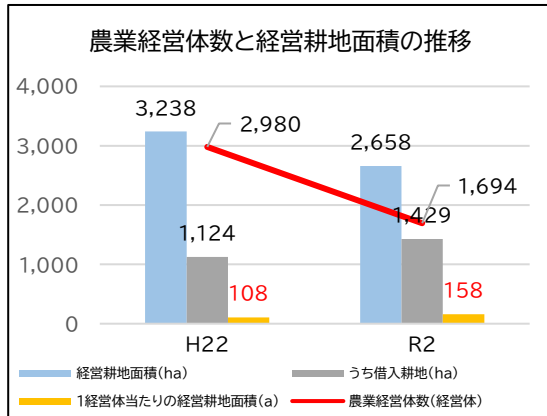
(出典:農林業センサス)





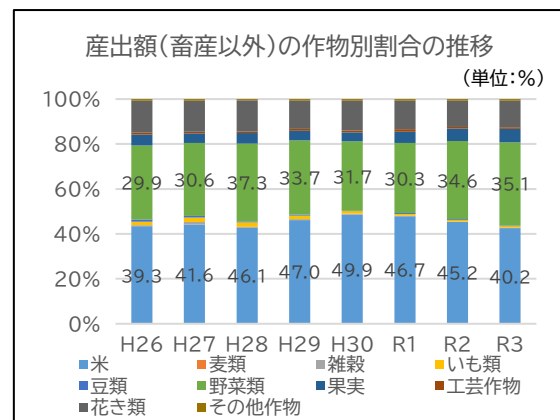
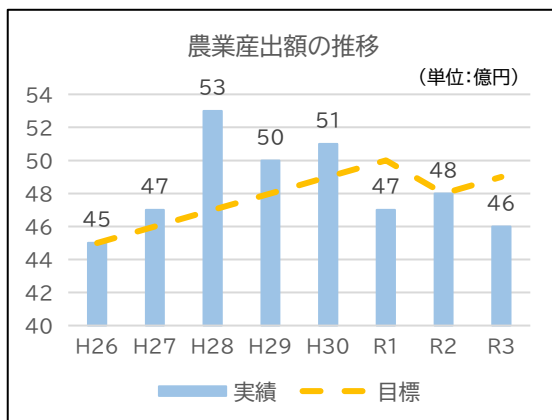
農地の活用

- 耕地面積が減少しています。
- 5ha 以上の経営体の割合が増加していますが、今後も農地の集積・集約化の必要があります。



生産振興

- 産出額の 40%は米が占めており、米価と需要の減少から産出額の減少へ影響を与えています。
- 野菜は 35%と微増していますが、米からの転換には排水対策など生産基盤の整備が必要です。

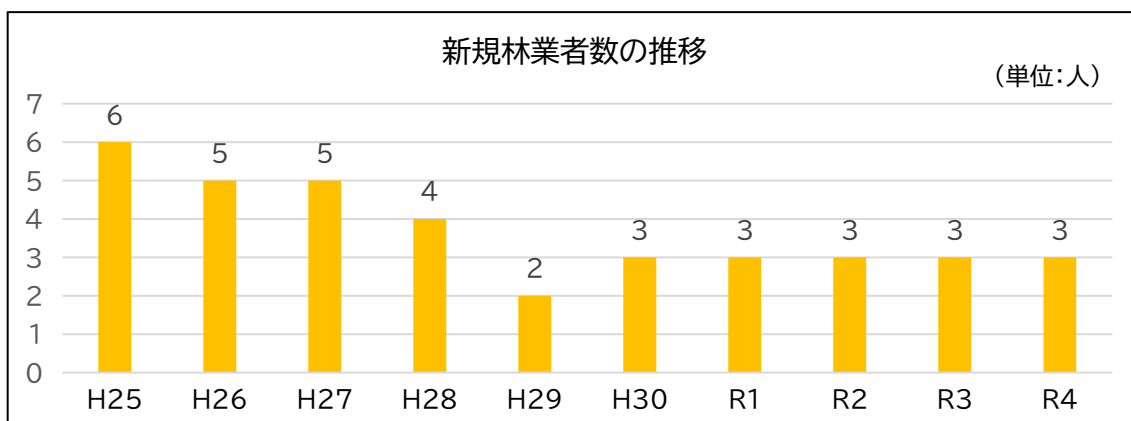


2 林業



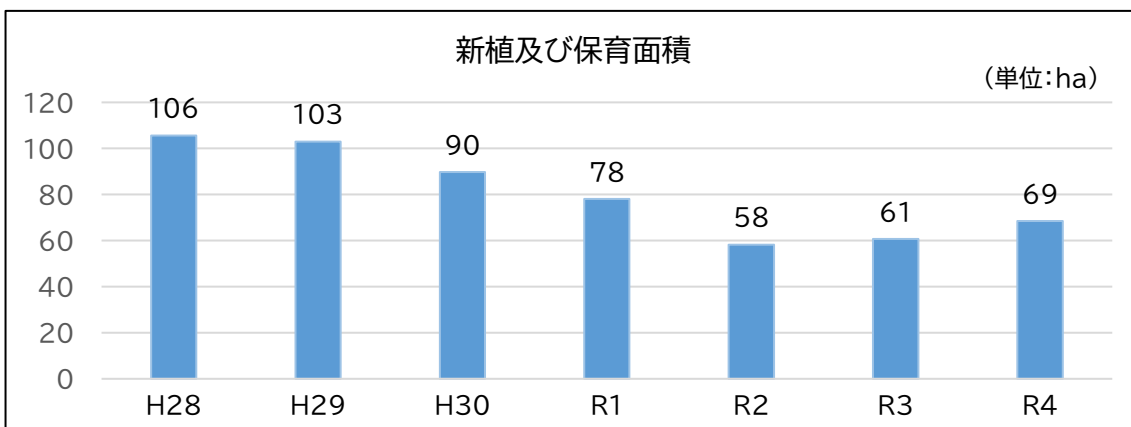
担い手不足と高齢化

- 森林所有者が個人で森林を経営・管理することは非常に難しい状況にあります。
- 新規林業就業者を増やし、担い手不足解消と若返りする必要があります。



循環型林業

- 木材生産を継続するためには「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を推進する必要があります。
- 森林環境譲与税を活用し、「森林の公益的機能保全と林業の成長化」を図っていきます。

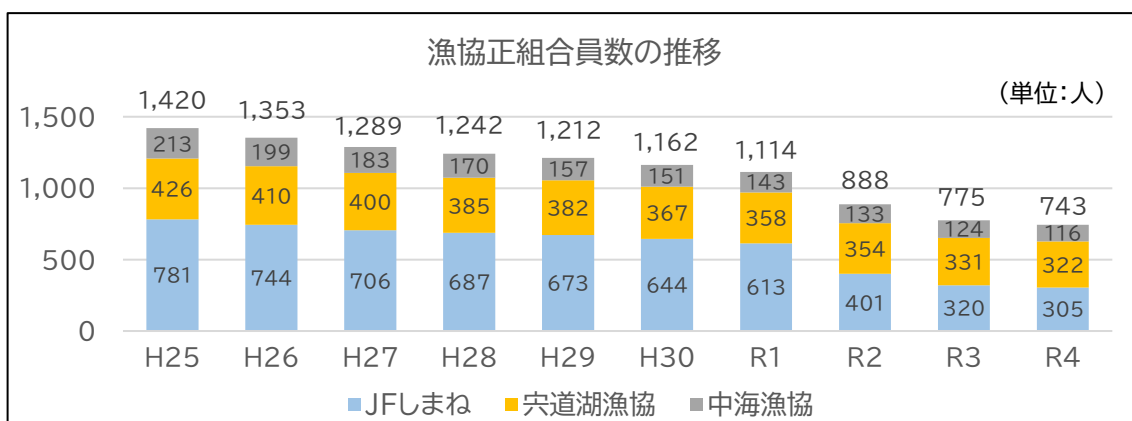


3 漁業



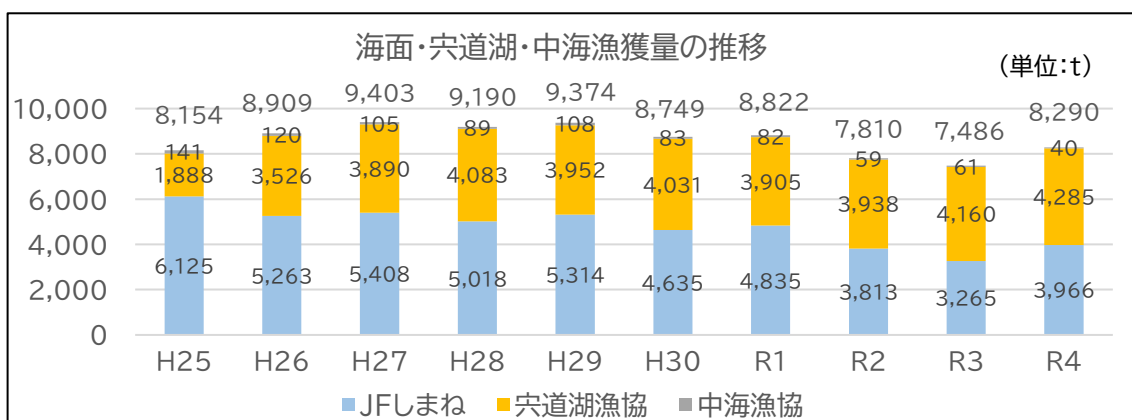
担い手不足と高齢化

- 漁業の担い手が減少しています。
- 新規漁業者を増やす取組を島根県や各漁協と連携し推進する必要があります。



生産振興

- 内水面の漁獲量は増加していますが、沿岸漁業の漁獲量が減少しています。
- 種苗放流など「つくり育てる栽培漁業」を推進し、資源回復や漁獲量の向上を図る必要があります。



第3章 本市が目指す農林水産業の展開

1 基本理念と基本方針

- 「松江市農山漁村地域活性化基本条例」 5 つの基本理念
- 「農山漁村地域活性化基本計画」 9 つの基本方針

「農林水産業の振興」と

「農山漁村の活性化」を図る

「松江市農山漁村地域活性化基本条例」

基本理念

「農林水産業の振興」

- I 安定的な農林水産業の経営を確立する
- II 農林水産業の持続的な発展を図る
- III 食と観光の連携を図り農林水産物の消費を拡大する

「農山漁村の活性化」

- IV 後世へ引き継ぐべき農山漁村地域の有する地域資源への理解を深める
- V 農山漁村地域の集落を維持及び活性化する

基本方針

- 1 多様な担い手の育成・確保
- 2 地域の特性を活かした農産物の生産振興
- 3 多様な漁業の振興
- 4 経営安定を図るためのスマート農林水産業の推進
- 5 環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進
- 6 農林水産物のブランド化と販路開拓
- 7 生産基盤の整備と保全
- 8 地域を支える人材づくりと地域資源の活用
- 9 農山漁村の暮らしを支える環境づくり



主要施策の内容

- 新たな担い手の育成・確保
- 集落営農組織の育成及び組織間の連携強化
- 多様な人材や組織の育成・確保
- 地域の特性を活かした生産振興
- スマート農林水産業による効率化と質の向上
- 環境に配慮した農林水産業の推進
- 農水商工連携や観光と連携した特産品の開発と販路拡大
- 生産性向上や省力化を図るためのほ場の大区画化や排水対策の推進
- 災害に強い生産基盤や施設整備の推進

- 地域を支える人材づくり
- 地域資源の発掘・磨き上げ
- 暮らしを支える環境づくり
- 豊かな自然や景観の保全
- 鳥獣被害対策の推進

2 主要施策

基本方針 1 多様な担い手の育成・確保

主要施策① 新たな担い手の育成・確保(農業)



方向性

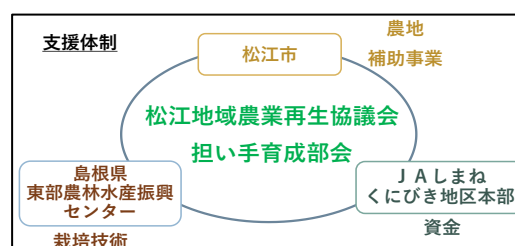
- 就農前の支援から就農後のフォローアップまで関係機関と連携して一体的に取り組みます。
- 経営規模や営農形態に応じたスマート農業の導入を推進し、若者にとって魅力ある農業を展開します。
- 集落営農組織への新規就農者の受入れ、法人化、組織の広域化・連携・再編を推進します。
- 異業種との交流による、6次化や新たな販路の開拓などにより、高付加価値・高単価の販売による売上の増加を支援します。

目標指標

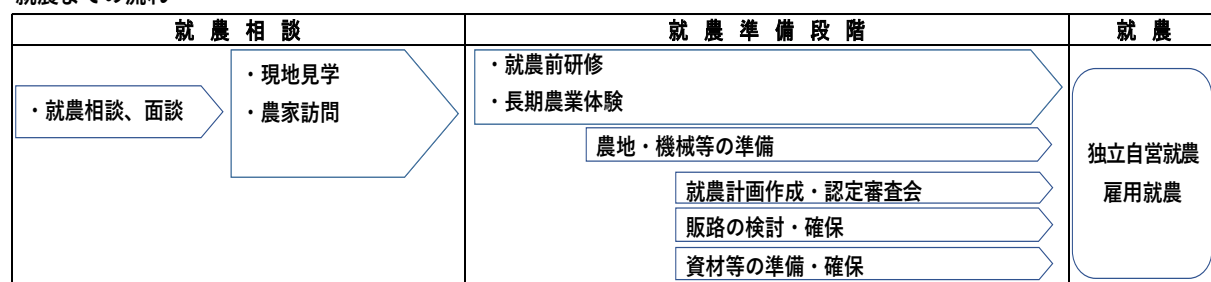
指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
新規就農者数(人)	14	14	14	14	14	14	14

実現に向けた取組

- 農林系学卒者、UI ターン者等の就農支援
- 新規就農者の認定農業者への着実な移行
- 就農地情報などの積極的な情報発信
- スマート農業の導入支援と研修会・実演会の実施
- 集落営農組織の法人化・広域化・連携・再編
- 定年帰農者、半農半 X や若手機械オペレーターの確保



就農までの流れ



主要施策② 新たな担い手の育成・確保(林業)



方向性

- 高校生等の就業体験、新規林業就業者への体系的な研修、森林プランナーや技術者などの資格取得支援など担い手の確保・育成に取り組めます。
- 高性能機械による作業の効率化により、人員不足の解消を図ります。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
新規林業就業者数※(人)	4	2	2	2	2	2	2

※松江森林組合の新規就業者数

実現に向けた取組

- 林業の担い手確保と人材育成の推進
- 中学生、高校生等の若年層が関心を持てる講演や研修等の開催
- 島根県立農林大学校と連携し、県内就職(自治体、林業事業体)への斡旋



高校生への講演



林業担い手の育成・確保

主要施策③ 新たな担い手の育成・確保(漁業)



方向性

- 沿岸地域については、就業前からの支援(体験・研修)や就業後の支援(給付金制度や漁船・漁具の支援)を関係機関と連携し、新規漁業者の育成・確保に取り組めます。
- 沿岸地域での漁業権取得には、地域への居住が条件であることから、空き家情報を活用し、関係機関と連携し担い手確保に取り組めます。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
新規漁業者数(人)	19	19	19	19	19	19	19

実現に向けた取組

- ふるさと島根定住財団及び島根県並びに各漁協と連携した取組
- 特定技能制度の推進



主要施策④ 生産振興(農産物)



方向性

- 主食用米から野菜への転換を推進するため、圃場整備や耕作条件改善事業により排水性を高め、需要や販路が確保できる野菜との複合経営を推進します。
- 圃場整備を契機とした担い手への農地の集積・集約化とスマート農業の導入を推進します。
- 農産物の付加価値を高めるため、農水商工連携事業への生産者の関わりを深める取組を推進します。
- 競争力ある品目や、需要が見込める品目を重点推進品目として生産を振興します。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
農業産出額(億円)	50	51	52	53	54	55	56

実現に向けた取組

- 生産性の高い農業を展開するための圃場整備の推進
- 中山間地域を中心とした耕作条件改善事業の推進
- 地域農業の将来のあり方を定めた「地域計画」の策定
- 担い手への農地の集積・集約化
- スマート農業の推進
- 農産物の新たな付加価値の創出

区 分	重 点 推 進 品 目
穀 類	米、飼料用米、WCS 用稲、そば、大豆、麦
野菜類	キャベツ、たまねぎ、アスパラガス、ミニトマト、トマト、かぼちゃ、レタス、はまぼうふう、いちご、メロン
果 樹	西条柿、いちじく、ぶどう
花 卉	牡丹、その他花卉(トルコギキョウ、ストックなど)
畜 産	肉用牛、乳用牛
その他	雲州人参

主要施策⑤ 生産振興(水産物)



方向性

- 各漁協での担い手育成及び付加価値化を推進します。
- 市場開設と共販体制による出荷が実現できるよう、関係機関と連携しながら推進します。
- サルボウガイの人工採苗の技術移転の後に施設設置補助を推進します。
- まつえ農水商工連携事業による、「異業種間」のマッチング等へのサポートを推進します。
- 定置網事業者が、「松江いわがき」養殖を副業とする取り組みを推進します。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
水産業産出額(億円)	41	41	41	41	41	41	41

実現に向けた取組

- まつえ農水商工連携事業による水産物のブランド化の推進
- 宍道湖シジミの品質向上のため、流通体制の見直しと共販体制の実現化
- サルボウガイ養殖の人工採苗の技術継承と施設整備
- まつえ農水商工連携事業による事業者研修会・交流会等の開催
- 島根県と連携し、定置網事業者のイワガキ事業参画の推進



宍道湖産シジミ



中海産サルボウガイ



松江いわがき

主要施策⑥ スマート農林水産業による効率化と質の向上(農業)



方向性

- 「地域の特性を活かした持続可能な農業」の展開を目指し、経営の規模や種類など地域の特性に応じたスマート農業技術の導入を推進します。
- 農地の集積・集約化による生産効率を最大限に高めるため、圃場の大区画化と併せて基地局など通信環境のインフラ整備も推進していきます。
- 費用対効果を見極めた上で導入を推進していくため、生産者をはじめ、行政機関やJAが連携してスマート農業の理解を深めていきます。

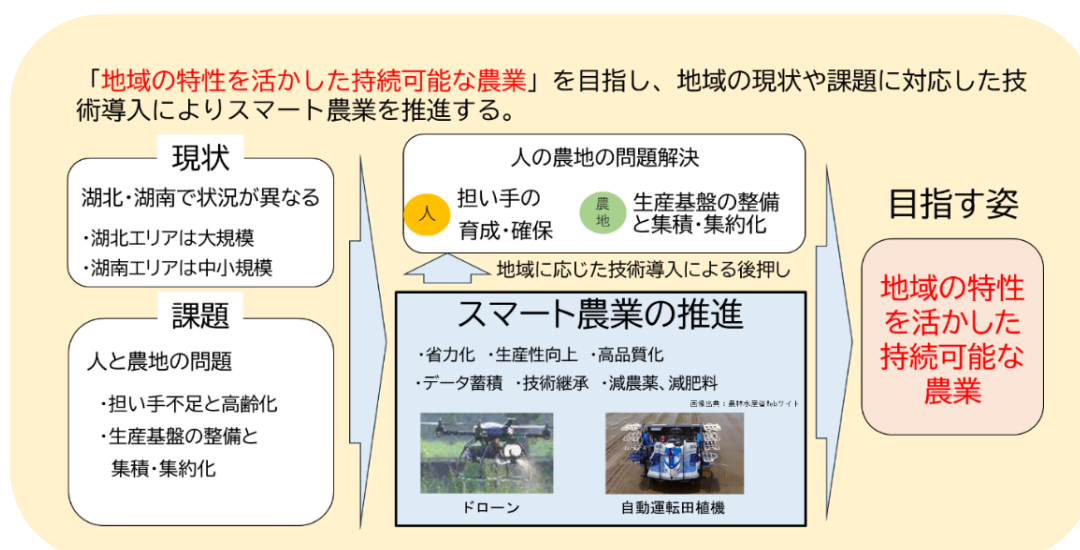
目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
スマート農業導入率※ (%)	15.7	18.8	21.6	24.2	26.6	28.9	31.1

※認定農業者と認定新規就農者の合計値

実現に向けた取組

- スマート農業技術の実証と導入支援
- 研修会及び実演会による普及・啓発の実施



主要施策⑦ スマート農林水産業による効率化と質の向上(林業)

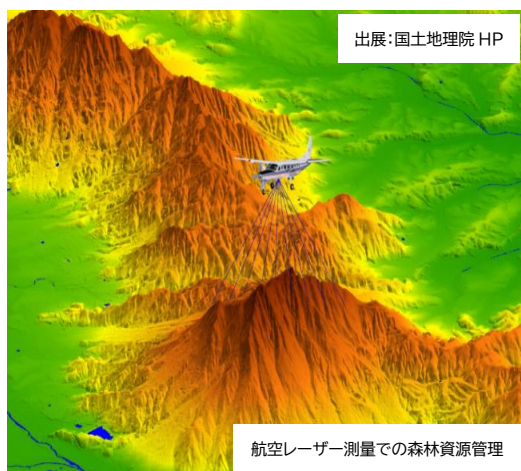


方向性

- 新技術を活用し効率化を図る「スマート林業」を推進します。
- 「スマート林業」による生産性の向上を図ります。
- 人材育成・担い手の確保による林業の成長産業化と森林の適切な管理に取り組みます。

実現に向けた取組

- 航空レーザー測量による森林資源管理
- 高性能林業機械の導入補助



主要施策⑧ スマート農林水産業による効率化と質の向上(漁業)



方向性

- 沿岸漁業者へ海況予測情報(水深別の水温、塩分、潮流)をインターネットで配信し、その情報を活用し効率的に操業する「沿岸漁業のスマート化」の体制づくりを島根県と連携し推進します。
- 産学官の技術交流により開発した「半循環取水システム」を活用することで、陸上養殖に重要なランニングコストの軽減が図れることから、アワビ等の陸上養殖事業者の誘致を推進します。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
ICT 導入件数	1	1	1	1	1	1	1

実現に向けた取組

- 島根県の専門水産業普及員と連携し、「沿岸漁業のスマート化」の体制づくりを推進
- 関係機関と連携し、陸上養殖事業の推進



半循環取水システム(特許共同出願中) ※取水量の削減と電気代の抑制が可能なシステム

主要施策⑨ 環境に配慮した農林水産業の推進(環境保全型農業)



方向性

- 環境保全型農業が注目される中、県や JA と連携し、有機農業や資源循環型農業などの促進を図ります。
- 「みどりの食料システム戦略」に基づき、化学農薬、化学肥料の低減や温室効果ガス削減など環境負荷の低減に資する取組を推進します。

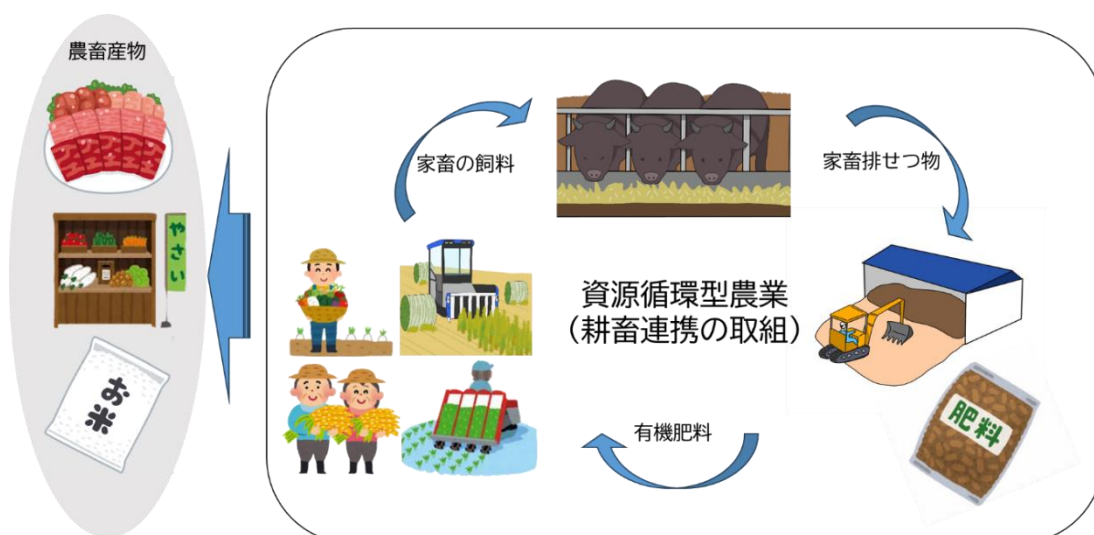
目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
対象農用地面積※(ha)	127	137	147	157	167	177	187

※環境保全型農業直接支払制度の面積

実現に向けた取組

- 有機農業や環境保全型農業などの技術指導や制度の周知
- スマート農業技術の導入などによる省力化と環境負荷の低減
- みどり認定制度の普及
- 資源循環型農業(耕畜連携)の取組の推進
- J-クレジット制度の推進



主要施策⑩ 環境に配慮した農林水産業の推進(循環型林業)



方向性

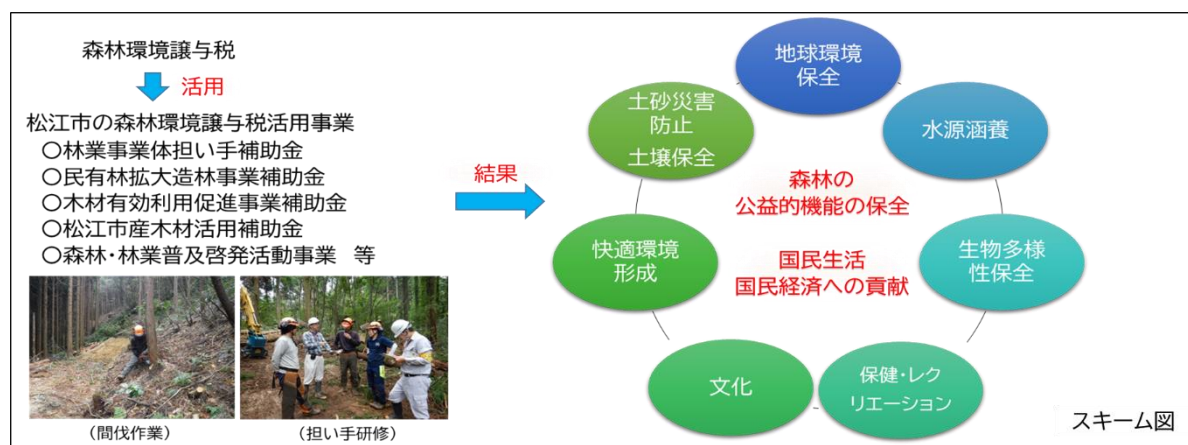
- 持続的な森林経営の確立に向け、担い手である森林組合や林業事業体が、林地台帳の情報を活用し、森林経営計画による施業の集約化を推進していきます。
- 木材生産と森林の持つ多面的機能を将来にわたって発揮させるため、主伐の促進と伐採跡地の確実な更新や松江バイオマス発電所を活用した間伐の推進などを促進します。
- 森林を活かすための集約化施業や原木集荷の効率化を図るため、路網と高性能林業機械の整備により、効率的な木材生産を推進します。
- 適切な森林整備による国土保全、地球温暖化防止等、多面的機能の発揮について、市民全体が木材利用の意義について理解を深める啓発活動の推進や、森林管理により吸収されたCO₂等の温室効果ガスを認証し「クレジット」を発行するJ-クレジット制度に取り組みます。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
新植・保育面積(ha/年)	60	60	60	60	60	60	60

実現に向けた取組

- 森林環境譲与税を活用した森林整備や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発活動の推進により「森林の公益的機能保全と林業の成長化」を図っていく。



主要施策⑪ 環境に配慮した農林水産業の推進(栽培漁業)



方向性

- アワビの種苗生産を行い、アワビ種苗を放流し、漁獲量の維持を図ります。
- 沿岸地域については、藻場の磯焼けが顕著であることから、藻場の造成を推進します。
- 全水域に対して、種苗放流を行い、水産資源の回復と漁獲量の維持に取り組めます。
- サルボウガイの人工採苗の技術移転後の事業支援については、島根県と連携して取り組めます。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
漁獲量(t)	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000

実現に向けた取組

- アワビの種苗生産の推進
- 実効性のある魚礁整備の推進
- 漁業関係者の要望に沿った効果が期待できる魚種の放流
- サルボウガイ人工採苗の技術移転
- ブルーカーボンの推進



主要施策⑫ 農水商工連携による特産品開発



方向性

- 商品リリース後の専門家によるアドバイスやフォローアップ等の取組みを充実することで、新商品開発支援の PDCA サイクルを推進します。
- 市内の生産者や商工業者の、多様な異業種連携の創出を推進します。そのためのマッチングの場として、事業者向けの研修会・交流会の充実に取り組みます。
- 販路拡大に向けた取組みとして、都会地で開催される展示商談会に島根県が参加していることから、本市からも市内の関連事業者これらの機会の活用を推進します。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
開発支援商品数※	91	93	95	97	99	101	103

※H22 年度からの累計

実現に向けた取組

- 事業者研修会・交流会の開催による事業者マッチングの機会の創出とモチベーションアップ
- 販売を見据えた商品開発の支援強化(「できたものを売る」⇒「求められるものを売る」へ転換)
- 市内外へのイベント出店による開発支援商品を始めとする市産品の認知拡大・販路拡大
- 新商品開発後のフォローアップ・支援

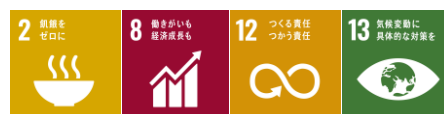


事業者研修会交流会の様子



個別相談会の様子

主要施策⑬ 地産地消の推進と観光と連携した特産品の推進



方向性

- 学校給食における全品目地場産比率向上のため、契約栽培の拡大を目指します。
- 生産者と消費者の交流を通して、松江市産の農産物についての理解を促します。
- 松江産そばの収量の増加と安定生産を図るため、生産者や JA と協力して取り組みを展開します。
- 牡丹生産の基盤強化を図るため、新規就農者の獲得・定着支援や、生産体制の見直しと再構築など、県や JA 等の関係機関と連携した取り組みを展開します。
- 松江大根島牡丹を観光客へ PR するなど、認知度向上に取組み、販路拡大を支援します。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
学校給食 全品目地場産比率(%)	42.5	44.0	44.0	44.0	44.5	44.5	44.5

実現に向けた取組

- 給食関係者と農業関係者の協議の継続実施
- 地元農産物を PR するイベントの実施・支援、本市における農林水産業の取り組みのPR
- そばの収量増加のため、排水対策の実施と大規模作付けへの支援
- 牡丹生産の規模拡大や効率化を進めるため、生産者による栽培体系の再構築への支援
- 牡丹農家の作業負担を軽減し生産量の増加を図るため、企業的経営体への作業委託実施に向けた検討
- 駅や観光施設等を利用した牡丹の PR 活動と販促活動の実施



主要施策⑭ 優良農地の整備と活用



方向性

- 圃場整備を計画的に進め、大区画化(1ha以上)を図り、担い手への農地の集積・集約化の効果を最大限に高めていきます。
- 農業委員会や関係機関と協力し、地域計画策定に向けた地域農業の将来のあり方についての話合いを進めていきます。
- 水田園芸をはじめとする収益性の高い農業への転換を促進するため、圃場整備を契機とした担い手への農地の集積・集約化とスマート農業の導入を推進していきます。
- 農業者の減少や高齢化が顕著な中山間地域においては、農地耕作条件改善事業などを活用し、簡易な排水対策や小規模な圃場整備、土壌改良、法面の緩傾斜化、獣害防護柵の設置などを進め、生産条件を改善していきます。
- 今後、遊休農地の増加が懸念されるため、農業委員会の協力により、「利用状況調査」の結果による検証を進めて、遊休農地の新規発生を予防を図ります。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
担い手への集積率(%)	34.3	36.6	38.9	41.2	43.5	45.8	48.2

実現に向けた取組

- 圃場整備による大区画化や農業用揚排水施設・農道など農業用施設の機能の維持増進等の生産基盤の整備
- 利用されなくなったため池の貯水機能を廃止し、安全安心の農村環境を確保
- 地域農業の将来のあり方等を定める「地域計画」の策定
- 担い手への集積を図るため「農地流動化奨励金事業」の実施
- 耕作放棄地解消のため「遊休農地解消緊急対策事業」の実施



主要施策⑮ 漁業の生産基盤の整備



方向性

- 施設維持管理計画に基づく点検および調査で、維持・更新工事を実施し、施設の長寿命化および更新コストの縮減を図ります。
- 水銀灯等の照明施設を年次計画で LED 灯に切り替えることにより、電気料金等の維持管理費を低減し、脱炭素化の推進を図ります。

目標指標

指標名		R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
施設維持修繕・改良※	漁港	2	3	4	5			
	港湾・海岸	1	6	7				
照明施設(LED 化)		20	20	20	20	20		

※ 点検および調査から施設の健全度を判定し、機能低下している施設の修繕実施計画

実現に向けた取組

- 新技術を活用した点検により、効率かつ的確な状況の把握
- 点検結果から、年次計画により維持・更新工事を実施
- 年次計画に基づき、LED 灯の切替工事を実施



物揚場施設の長寿命化対策

主要施策⑬ 地域を支える人材づくり



方向性

- 市内外の都市部と農山漁村地域との関係人口の拡大を図ります。
- 農林水産業体験や食育学習等を通じて、農山漁村地域への関心を深めます。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
補助金*支援数(件)	3	3	3	3	3	3	3

※都市農山漁村交流連携促進事業費補助金

実現に向けた取組

- 市内外の都市部と農山漁村地域との交流活動に取り組む団体の掘り起こしと支援
- 特定地域づくり事業協同組合との連携
- 農林水産業体験や食育学習等ができる機会の創出



大根の収穫体験



味噌づくり体験

主要施策⑰ 地域資源の発掘・磨き上げ



方向性

- 農山漁村の魅力を観光資源として活用する取組を支援します。
- 地域資源の再発見や魅力アップに取り組めます。
- 農山漁村地域の魅力の PR に取り組めます。

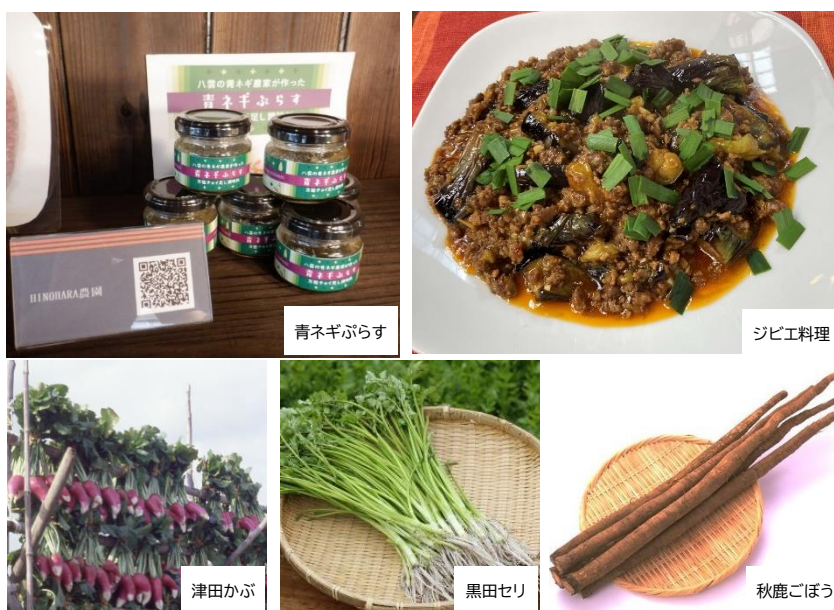
目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
補助金※支援数(件)	1	1	2	2	2	2	2

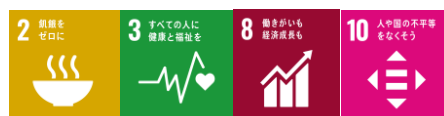
※地域資源を活用した地域活性化事業費補助金

実現に向けた取組

- 体験・交流拠点や農泊等の推進に必要な支援
- 地域資源の再発見や魅力を高める方法、都市住民に PR する方法の検討
- 津田かぶ、黒田セリ、秋鹿ごぼう等の伝統野菜の継承



主要施策⑱ 暮らしを支える環境づくり



方向性

- 地域住民が元気になれる場所づくりを推進します。
- 担い手を確保するため、新規就農者・就漁者が安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。
- 農山漁村の地域は、福祉、文化、観光、防犯等多岐にわたり関わることから、生活サービスが受けられる環境の整備を庁内関係部及び庁外関係機関と連携して推進します。
- 新たに移動販売等の取組が必要な地域への支援の拡充に取り組みます。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
補助金※支援数(件)	3	4	4	5	5	6	6

※地域内兼業による地域活性化事業費補助金、新規就農者・就漁者誘致対策事業費補助金

実現に向けた取組

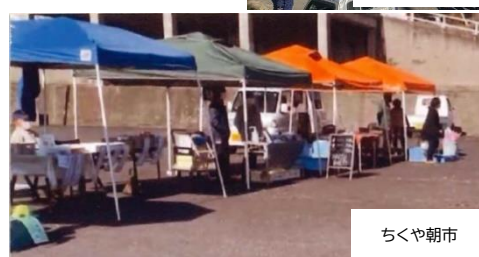
- 田んぼアートや朝市等の交流活動への支援
- 新規就農者・就漁者の家賃への支援
- 移動販売等生活サービスが受けられる環境整備の取り組みへの支援
- 移動販売への支援が必要な地域の掘り起こし
- 農地付き空き家の情報提供



田んぼアート



移動販売車による買い物風景



ちくや朝市

主要施策⑨ 豊かな自然や景観の保全(多面的機能の発揮)



方向性

- 多面的機能支払制度と中山間地域等直接支払制度の活動組織の書類作成の事務負担軽減に取り組みます。
- 地域計画や集落戦略などの話し合いを進める中で、近隣の認定農業者等の参入を促したり、活動組織同士での合併・広域化の取り組みを検討していきます。
- 活動未実施地域への新規取組に支援します。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
対象農用地面積※(ha)	2,670	2,668	2,649	2,647	2,645	2,643	2,641

※多面的機能支払制度と中山間地域等直接支払制度の合計面積

実現に向けた取組

- 事務処理支援システムの導入による事務負担軽減
- 地域計画や集落戦略等の地域の将来像を検討する話し合いの場の開催支援
- 活動組織の合併・広域化に対する支援
- 説明会の開催等による活動未実施地域への新規取組支援



水田の共同防除



植栽等の景観形成活動(ヒマワリの播種)

主要施策⑳ 鳥獣被害対策等の推進



方向性

- 各地域での研修会や意見交換会において狩猟免許取得の促進を図ると共に、若い世代の駆除員の確保を目指します。
- 地域ぐるみの鳥獣被害対策を推進し、農作物被害の削減を図ります。
- 有害鳥獣処理施設の新規建設の検討に取り組みます。

目標指標

指標名	R5 現状	R6	R7	R8	R9	R10	R11 目標
農作物被害額(千円)	5,000	4,080	4,080	4,080	4,080	4,080	4,080

実現に向けた取組

- 狩猟免許取得の支援策の実施
- 地域ぐるみの鳥獣被害対策として、研修会の実施、防護柵の購入補助、広域防護柵の貸与や箱わなによる捕獲の実施
- 有害鳥獣の防止(防護柵の設置等)からジビエ利活用まで一貫して出来るシステムの構築
- 有害鳥獣処理施設の先進地視察



鳥獣被害防止地域研修会



ジビエ普及イベント



ジビエ料理

第4章 計画の推進

(年度)						
令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)
・計画策定						
	● 「農山漁村地域活性化委員会」毎年開催 ➡ 各種施策の進捗状況や成果を検証 ● 社会情勢や経済情勢の変化など計画の見直しが必要となった場合 ➡ 目標指標や施策内容の修正					

第2次松江市農山漁村地域活性化基本計画

令和6年 月

松江市 産業経済部 農政課

〒690-8540 島根県松江市末次町86番地

TEL 0852-55-5225